

大野市行政改革戦略会議 会議結果の概要

令和元年6月10日（月）午後7時00分～8時40分
市庁舎 2階 談話室

1 座長あいさつ

2 議 題

(1) 施策評価について （別紙参照）

経営資源の確保と有効活用による、効率的・効果的な行財政運営（経営）を図ることで第五次大野市総合計画後期基本計画を着実に推進するため、施策目標の達成状況や成果、施策推進過程における現状と課題の変化、改善方策などについて、基本施策評価シートをもとに検証した内容について、委員より意見をいただき、施策評価の取りまとめの参考とした。

委員から出された意見については、別紙のとおりである。

3 報告事項

(1) 公共施設使用料等の見直しについて

・大野市公共施設使用料等見直しの進捗状況について報告

5月29日に開催した第1回大野市公共施設使用料等見直し検討委員会での協議事項を報告。（下記の見直し方針について検討委員会で決定）

使用料の見直し方針

- 余暇や交流を楽しんだり、観光に訪れたりする施設で、一人当たりの入館料、入場料を設定している施設については、原価増減率をもとに見直すことを前提として検討する。
- 地域活動、文化活動、スポーツ活動等を目的として利用する施設で、ホールや会議室のような一定の区画（部屋等）を団体や個人が利用する施設については、交流活動の促進と、スポーツを通じた健康の保持増進を図ることを目的に、使用料の据え置きを前提として検討する。

手数料の見直し方針

- 原価を算定する中で、他市の状況もみながら検討する。

減免制度の見直し方針

- 減免となる対象事業、対象団体を検討し、団体間に不公平が生じないように、現在の「大野市公共施設減免規則」の見直しについて検討する。

4 その他 特になし

5 閉 会

別 紙

議題（１）施策評価について

第五次大野市総合計画後期基本計画における基本施策（全３８の基本施策）は次のとおりです。

- 基本施策 1 結の心あふれる人づくり
- 基本施策 2 豊かな心を育てる文化力の育成
- 基本施策 3 活力あふれるスポーツ社会の実現
- 基本施策 4 福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会の開催
- 基本施策 5 共に力を合わせるふるさとづくり
- 基本施策 6 高齢者の安全安心の確保と社会参加の促進
- 基本施策 7 障害のある人への支援
- 基本施策 8 子どもと子育て家庭への支援
- 基本施策 9 保健予防と地域医療の推進
- 基本施策 10 共に支え合う地域福祉の推進
- 基本施策 11 災害に強いまちづくりの推進
- 基本施策 12 防災・消防基盤の整備
- 基本施策 13 犯罪、事故、消費者被害がないまちづくりの推進
- 基本施策 14 中部縦貫自動車道の整備促進
- 基本施策 15 幹線道路網の整備
- 基本施策 16 人にやさしい道路環境の創出
- 基本施策 17 快適な生活関連の基盤整備
- 基本施策 18 快適な住宅の整備
- 基本施策 19 高度情報化の推進
- 基本施策 20 公共交通手段の確保
- 基本施策 21 雪に強いまちづくり
- 基本施策 22 越前おおのブランド戦略の推進
- 基本施策 23 越前おおの型農業の推進
- 基本施策 24 森林整備の推進と持続可能な林業の振興
- 基本施策 25 中心市街地の活性化
- 基本施策 26 戦略的な観光の推進
- 基本施策 27 地域間交流の推進
- 基本施策 28 定住の促進
- 基本施策 29 雇用の確保と働く環境の整備
- 基本施策 30 地下水の保全と湧水文化の再生
- 基本施策 31 豊かな自然環境の保全と創出
- 基本施策 32 快適な生活環境の保全
- 基本施策 33 良好なふるさと景観の形成
- 基本施策 34 次世代につなぐ持続可能な社会の形成
- 基本施策 35 人口減少対策と地方創生の推進
- 基本施策 36 市民総参加・協働型の市政の推進
- 基本施策 37 情報化社会に対応した市政の推進
- 基本施策 38 健全な行財政の推進

【委員から出された主な意見は以下のとおりです】

●基本施策1 結の心あふれる人づくり

- ・公民館講座について、情報が市民に伝わるよう、講座情報をスマホで見られるようにするなど、情報提供の工夫が必要ではないか。
- ・家庭で、インターネット等を使って何かを調べてくるという宿題が出たとき、対応できる家庭と、対応できない家庭があるかもしれないので、配慮が欲しい。

●基本施策4 福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会の開催

- ・自転車競技、相撲競技、カヌー競技など、大野市で開催された種目について、国体開催を契機に盛り上げて行って欲しい。

●基本施策5 共に力を合わせるふるさとづくり

- ・自治会等に女性が参加し、活躍できるまちづくりを推進する必要がある。

●基本施策7 障害のある人への支援

- ・障害者相談件数は目標を上回っており、児童デイサービスも実施しており、大野市の障害者福祉は行き渡っていると感じる。

●基本施策11 災害に強いまちづくりの推進

- ・自主防災組織について、今後、各自治会において少子化・高齢化が進む中で継続的な訓練等ができるよう、活動を活発化させて行って欲しい。

●基本施策13 犯罪、事故、消費者被害がないまちづくりの推進

- ・高齢者の交通事故が多発している。また、詐欺事件についても被害者が多い。被害に遭わないように啓発して欲しい。

●基本施策19 高度情報化の推進

- ・無料観光Wi-Fiの接続制限時間が短いと思う。接続時間や接続方法について利用者の視点に立ち検討して欲しい。

●基本施策20 公共交通手段の確保

- ・今後、免許返納者が多くなると、公共交通機関の重要性が増していく。

●基本施策22 越前おおのブランド戦略の推進

- ・中部縦貫自動車道の開通など、道路事情を考えれば、今後は石川県よりも岐阜県や愛知県のほうにブランド戦略の営業を掛けたほうが良いと思う。

●基本施策25 中心市街地の活性化

- ・中心市街地の整備は進んでいると思うが、三番通りなどに空き店舗や空き地が目立つ。これらの対策も必要である。

●基本施策26 戦略的な観光の推進

- ・六呂師高原スキーパークのPRをもっとすべきだと思う。

●基本施策29 雇用の確保と働く環境の整備

- ・産業団地については、全庁体制で企業誘致に取り組んで欲しい。

●基本施策30 地下水の保全と湧水文化の再生

- ・市街地において、理解を得ながら上水道への加入促進を図ることが、地下水保全につながると思う。

●基本施策36 市民総参加・協働型の市政の推進

- ・パブコメの反応が少ないと思う。浸透を図る方策を検討していく必要がある。